平成26年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書

平成28年３月

広　島　県　教　育　委　員　会

例　　言

1　本書は，広島県教育委員会が，平成 26 年度に国庫補助を受けて実施した県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）事業に係る調査成果の報告書である。

2　本事業は，道路建設・住宅建設・農業基盤整備等，今後急速に開発が進展すると予想される地域及び既に開発計画が立案されている地域について，遺跡の分布調査（現地踏査及び試掘・確認調査）を行い，保存対策に資する目的で実施したものである。

具体的には，①大規模開発事業・広域開発事業・重要遺跡の取扱いなど，市町教育委員会（以下「市町教委」という。）が単独で対応することが困難な業務への対応，②専門職員未配置の市町教委に対する指導・助言・援助の観点から，各開発事業者等あるいは市町教委からの協議に基づいて県内各地の開発計画地内の現地踏査や試掘・確認調査を実施し，埋蔵文化財包蔵地の有無，範囲，内容等の確認を行うとともに，保存方法に関する協議を行った。

3　試掘地点範囲図・試掘坑配置図の原図は，各開発事業者から提供された地形図・工事平面図を使用した。

なお，工事平面図については，原則として試掘当時のものを使用しているため，図中の開発事業範囲や工事設計等は，その後変更されている場合がある。

4　本事業に係る現地調査から報告書作成に至る業務は，広島県教育委員会事務局管理部文化財課が行った。担当者は次のとおりである。

現地調査・所見作成（平成 26 年度）河村靖宏（主任文化財保護主事），沖　憲明（指導主事）

資料整理・報告書編集（平成 27 年度）西村直城（課長補佐兼埋蔵文化財係長），河村，沖，中村光則（文化財保護主事）

5　調査の実施に当たっては，各開発事業者，地権者及び関係市町文化財保護担当部局等の協力を得た。

6　本報告書作成に係る資料類については，図面・写真類は広島県教育委員会事務局管理部文化財課（広島市中区基町 9 番 42 号），出土遺物は広島県立埋蔵文化財センター（広島市西区観音新町四丁目 8 番 49 号）で保管している。

目　　次

第１章　事業の概要 …… 1

第２章　試掘・確認調査の成果 …… 4

1　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画に係る試掘調査 …… 4

2　広島西部山系直轄砂防事業に係る試掘調査 …… 16

3　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業に係る試掘調査（要試掘地点 No. 4） …… 20

4　一般県道弁財天加計線道路改良事業に係る試掘調査 …… 24

5　一般県道瀬野呉線道路改良事業に係る試掘調査（要試掘地点 No. 2，No. 3，No. 4） …… 31

6　林道比和：新庄線（君田・布野区間）に係る試掘調査（要試掘地点 No. 1） …… 38

7　林道比和：新庄線（君田・布野区間）に係る現地踏査 …… 42

報告書抄録 …… 44

挿　図　目　次

第 1 図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000） …… 4
第 2 図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城関連遺跡）試掘坑位置図（1:2,000） … 5
第 3 図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城関連遺跡）石列平面図（1:500） …… 6
第 4 図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城関連遺跡）試掘坑土層堆積状況概念図 ・ 8
第 5 図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地試掘坑 35T・36T 東壁土層断面図（1:50） …… 9
第 6 図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城跡）試掘坑位置図（1:300） …… 13
第 7 図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城跡）１T・３T・４T 土層断面図（1:40） ‥ 14
第 8 図　広島西部山系直轄砂防事業計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000） …… 16
第 9 図　広島西部山系直轄砂防事業計画地試掘坑位置図（1:500） …… 17
第 10 図　広島西部山系直轄砂防事業計画地試掘坑土層堆積状況概念図 …… 18
第 11 図　広島西部山系直轄砂防事業計画地石組平面図（1:40） …… 18
第 12 図　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000） ‥ 20
第 13 図　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業計画地試掘坑配置図（1:1,000） …… 21
第 14 図　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業計画地試掘坑土層堆積状況概念図 …… 22
第 15 図　一般県道弁財天加計線道路改良事業計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000） …… 24
第 16 図　一般県道弁財天加計線道路改良事業計画地試掘坑位置図（1:1,250） …… 25
第 17 図　一般県道弁財天加計線道路改良事業計画地試掘坑土層堆積状況概念図 …… 27
第 18 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000） …… 31
第 19 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地要試掘地点 No. 2 及び No. 3 試掘坑位置図（1:1,500） … 32
第 20 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地要試掘地点 No. 4 試掘坑位置図（1:1,500） …… 32

第 21 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地要試掘地点 No. 2, No. 3 試掘坑土層堆積状況概念図‥ 34
第 22 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地要試掘地点 No. 4 試掘坑土層堆積状況概念図 …… 34
第 23 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000）‥ 38
第 24 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画地要試掘地点 No. 1 試掘坑位置図（1:800）・ 39
第 25 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画地要試掘地点 No. 1 土層堆積状況概念図‥ 40
第 26 図　１Ｔ出土遺物実測図（1：3）…… 40
第 27 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画に係る現地踏査地点位置図（1:25,000）‥ 42
第 28 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画地現地踏査地内埋蔵文化財包蔵地範囲図（1:3,000）‥ 43

表　目　次

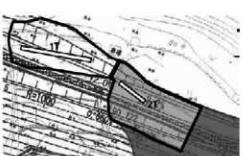
表 1　平成 26 年度に確認した埋蔵文化財包蔵地 …… 1
表 2　平成 26 年度に実施した現地踏査等の概要 …… 1
表 3　平成 26 年度に実施した試掘調査等の概要 …… 3
表 4　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城関連遺跡）試掘坑所見 …… 7
表 5　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城跡）試掘坑所見 …… 14
表 6　広島西部山系直轄砂防事業計画地試掘坑所見 …… 18
表 7　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業計画地各試掘坑所見 …… 22
表 8　一般県道弁財天加計線道路改良事業計画地試掘坑所見 …… 26
表 9　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地試掘坑所見 …… 33
表 10　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画地要試掘地点 No. 1 試掘坑所見 …… 40

図　版　目　次

図版 1　a　試掘地点東部近景（東から）　b　35Ｔ(北から)…… 10
c　35Ｔ石列（南から）　d　35Ｔ東壁焼土層（北西から）
e　36Ｔ(北から)　f　36Ｔ石列（南から）
g　36Ｔ石列（北から）　h　37Ｔ(北西から)
図版 2　a　38Ｔ(北西から)　b　39Ｔ(南から)…… 11
c　40Ｔ(南から)　d　41Ｔ(南から)
e　42Ｔ攪乱坑（西から）　f　43Ｔ(西から)
g　44Ｔ(北から)　h　45Ｔ(西から)
図版 3　a　46Ｔ(西から)　b　47Ｔ(南から)…… 12
c　48Ｔ(西から)　d　49Ｔ(北西から)
e　50Ｔ(北東から)　f　51Ｔ(北東から)
g　35ⅠⅣ層焼土層出土遺物（1：3）　h　35ⅠⅣ層出土遺物（陶磁器類）（1：3）
図版 4　a　１Ｔ(東から)　b　１Ｔ(南から)…… 15
c　２Ｔ(南から)　d　３Ｔ(北西から)
e　４Ｔ(北から)　f　５Ｔ(南から)
図版 5　a　１Ｔ(南西から)　b　２Ｔ(西から)…… 19
c　３Ｔ(西から)　d　４Ｔ(北東から)
e　石組（北東から）　f　石組（南西から）

図版6 a　永慶寺川湾曲部と試掘地点(南から)　b　試掘地点北側(手前４Ｔ)(南西から) …… 23
c　１Ｔ(南南東から)　d　２Ｔ(北西から)
e　３Ｔ(南から)　f　４Ｔシルト層と砂礫(北東から)
g　４Ｔ湧水を伴う川砂層(北東から)　h　５Ｔ(南東から)
図版7 a　試掘地点南西部(東から)　b　１Ｔ(西から)…… 28
c　２Ｔ(南から)　d　３Ｔ(西から)
e　４Ｔ(北から)　f　５Ｔ(南から)
g　６Ｔ(南から)　h　７Ｔ(南西から)
図版8 a　８Ｔ(南西から)　b　９Ｔ(東から)…… 29
c　10Ｔ(西から)　d　11Ｔ(北から)
e　12Ｔ(南から)　f　12Ｔ(北東から)
g　12Ｔ(東から)　h　８Ｔ～12Ｔ付近(西から)
図版9 a　13Ｔ(南西から)　b　14Ｔ(北から) …… 30
c　15Ｔ(西から)　d　15Ｔ(北から)
e　16Ｔ(南から)　f　16Ｔ延長部(南から)
g　12Ｔ出土遺物(２：３)　h　16Ｔ出土遺物(２：３)
図版10 a　No. ２地点南半近景(西から)　b　No. ２地点北半近景(北から) …… 35
c　10Ｔ(北から)　d　11Ｔ(西から)
e　12Ｔ(西から)　f　13Ｔ(南から)
g　14Ｔ(西から)　h　No. ３地点近景(西から)
図版11 a　８Ｔ(東から)　b　８Ｔ東端(北から) …… 36
c　９Ｔ(東から)　d　No. ４地点北半近景(南から)
e　No. ４地点南半近景(北から)　f　１Ｔ(南東から)
g　２Ｔ(西から)　h　３Ｔ(北東から)
図版12 a　４Ｔ(東から)　b　５Ｔ(南から) …… 37
c　６Ｔ(南西から)　d　７Ｔ(北から)
e　15Ｔ(南から)　f　16Ｔ(南西から)
図版13 a　１Ｔ遺物出土地点(南西から)　b　２Ｔ(西から) …… 41
c　３Ｔ(南から)　d　１Ｔ出土遺物(縄文土器)(１：３)
図版14 …… 43
a　杭番号 No. 56～No. 57 地点　馬の背状の小尾根から奥(西)側で砂礫掘削跡を確認
b　杭番号 No. 57 地点　砂礫の選別時に掘り出されたと考えられる礫群
c　杭番号 No. 63 地点付近　人工池から南東に下る谷筋
d　踏査地点に隣接した山裾部で確認した炉壁片等

試掘坑位置図　凡例



試掘坑

試掘調査により確認した埋蔵文化財包蔵地の範囲

既周知の埋蔵文化財包蔵地範囲

試掘調査の結果埋蔵文化財包蔵地ではないと確認した範囲

第１章　事業の概要

１　平成 26 年度に実施した分布調査の概要について

平成 26 年度に実施した，道路建設等の各種開発事業に先立つ現地踏査や現地協議等は，表２に掲げた 40 件である。

また，平成 26 年度に実施した試掘・確認調査は，表３にあげた 12 地点，合計 35,292 ㎡である。(市町教育委員会支援分を含む)

これらの分布調査の結果，表１に掲げた４箇所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。試掘・確認調査の内容や確認した埋蔵文化財包蔵地の範囲等の詳細については，次章に記載する。

表１　平成 26 年度に確認した埋蔵文化財包蔵地

遺跡名	市町名	時代	種類	面積（㎡）	確認方法	開発事業種類	備考
惣敷遺跡	三次市	縄文	集落跡	440	試掘調査	林道建設	
奥山製鉄遺跡	三次市	近世	製鉄遺跡	6,570	現地踏査	林道建設	
亀居城跡	大竹市	近世	城跡	200	試掘調査	道路建設	
亀居城関連遺跡	大竹市	近世	その他の遺跡（都市遺跡）	780	試掘調査	道路建設	＊

＊は，既周知埋蔵文化財包蔵地の範囲拡大・確定

表２　平成 26 年度に実施した現地踏査等の概要

No.	調査地	調査原因	原因者	調査期間	担当者名	用務内容
1	庄原市 高町	佐田峠・佐田谷 墳墓群発掘調査	庄原市	4/15	沖　憲明	重要遺跡の現地協議
2	廿日市市 宮島町	建造物修理	宗教法人	4/18	中村光則	出土品取扱い協議
3	三次市 君田町	林道建設事業	三次市	4/23	河村靖宏 沖　憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地踏査） ＜範囲を確定した遺跡＞ 奥山製鉄遺跡（近世，製鉄遺跡，6,570㎡）
4	廿日市市 宮島町	建造物修理	宗教法人	4/30	中村光則	出土木製品の現地調査
5	大竹市 小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	5/2	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
6	大竹市 小方一丁目	道路建設事業	大竹市	6/2	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
7	廿日市市 宮島町	建造物修理	宗教法人	6/13	中村光則	出土品取扱い協議
8	安芸郡 熊野町	道路改良事業	広島県	6/24	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
9	呉市 焼山中央三丁目	宅地造成	民間企業	6/30	河村靖宏	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援。
10	大竹市 小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	7/8	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
11	安芸郡 熊野町	宅地造成	民間企業	7/10	河村靖宏	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援。
12	庄原市 高町	佐田峠・佐田谷 墳墓群発掘調査	庄原市	7/11	沖　憲明	重要遺跡取扱い協議

No.	調査地	調査原因	原因者	調査期間	担当者名	用務内容
13	安芸高田市 甲田町	甲立古墳発掘調査	安芸高田市	7/12	沖　憲明	重要遺跡の現地協議
14	三次市 東酒屋町	農業交流連携拠点施設整備事業	三次市	7/14	植田千佳穂・惠谷泰典・沖憲明	埋蔵文化財取扱い協議
15	広島市中区	道路建設事業	国土交通省	7/16	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
16	広島市安芸区	道路建設事業	国土交通省	7/25	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
17	廿日市市 宮島町	高圧送電鉄塔建設	民間企業	8/5	沖　憲明	重要遺跡取扱い協議
18	安芸郡 海田町	宅地造成	民間企業	8/6	河村靖宏	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援。
19	府中市 本山町	特別高圧送電線増強工事	民間企業	8/7	沖　憲明	特別高圧送電線増強計画に係る埋蔵文化財取扱い協議
20	福山市 新市町	道路建設事業	福山市	8/21	沖　憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
21	庄原市 口和町	災害復旧工事	国土交通省	9/2	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
22	廿日市市 大野	高潮対策・河川整備事業	広島県	9/9	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
23	比婆郡 神石高原町	道路改良事業	広島県	9/12	河村靖宏	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
24	山県郡 安芸太田町	道路改良事業	国土交通省	9/30	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
25	大竹市 小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	10/2	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
26	廿日市市 宮島町	建造物修理	宗教法人	10/3	中村光則	出土品取扱い協議
27	廿日市市 宮島町	建造物修理	宗教法人	10/7	中村光則	出土品取扱い協議
28	安芸郡 海田町	宅地造成	民間企業	10/7	河村靖宏	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
29	三次市 十日市西	林道建設事業	三次市	10/23	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
30	廿日市市 宮島町	建造物修理	宗教法人	11/11	惠谷泰典	出土品取扱い協議
31	呉市 郷原町	住宅建築	民間企業	12/1	河村靖宏	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
32	東京都千代田区	甲立古墳発掘調査ほか	安芸高田市ほか	12/2・3	惠谷泰典	重要遺跡取扱い協議
33	大竹市 小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	12/16	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地踏査）
34	廿日市市 宮島町	建造物修理	宗教法人	12/16	中村光則	出土品取扱い協議
35	安芸郡 海田町	集合住宅建設	民間企業	1/6	河村靖宏	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
36	福山市 瀬戸町	道路建設事業	国土交通省	1/15	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
37	広島市安芸区	道路建設事業	国土交通省	1/19	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地踏査）
38	安芸郡 熊野町	宅地造成	民間企業	1/28	河村靖宏	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地協議）を支援
39	大竹市 小方一丁目	道路建設事業	国土交通省	1/30	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
40	福山市 新市町	道路改良事業	広島県	2/9	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議

表３　平成 26 年度に実施した試掘調査等の概要

No.	用務地	調査原因	原因者	調査対象面積（㎡）	調査期間	担当者名	用務内容
1	三次市 布野町	林道比和：新庄線建設	三次市	600	6/16～6/19	河村靖宏	１地点の試掘調査を実施し，埋蔵文化財包蔵地を確認した。 ＜範囲を確定した遺跡＞ 惣敷遺跡（縄文時代・集落跡，440㎡）
2	大竹市 小方地内	広島西部山系直轄砂防事業	国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所	1,186	6/26・6/27	河村靖宏	１地点の試掘調査を実施したが，埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。
3	大竹市 小方一丁目	岩国大竹道路建設	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所	14,920	7/29～8/1 8/4～8/6	河村靖宏	１地点の試掘調査を実施し，埋蔵文化財包蔵地を確認した。 ＜範囲を確定した遺跡＞ 亀居城関連遺跡（近世・その他の遺跡（都市遺跡），780㎡）
4	安芸郡 熊野町	一般県道瀬野呉線道路改良事業	広島県西部建設事務所	6,700	8/20～8/22 8/25～8/29	河村靖宏	３地点の試掘調査を実施したが，埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。
5	廿日市市 大野	二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川事業	広島県西部建設事務所	3,400	10/14～10/16	河村靖宏	１地点の試掘調査を実施したが，埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。
6	山県郡 安芸太田町	一般県道弁財天加計線道路改良事業	広島県西部建設事務所	3,800	11/11～11/14 11/17・11/18	河村靖宏	１地点の試掘調査を実施したが，埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。
7	大竹市 小方一丁目	岩国大竹道路建設	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所	200	12/25・12/26	河村靖宏	周知の埋蔵文化財包蔵地「亀居城跡」で遺構の範囲等を確認するための調査を行った。 ＜範囲を確定した遺跡＞ 亀居城跡（近世・城跡，200㎡）
8	安芸郡 府中町	宅地造成	民間企業	958	12/4・12/5	沖　憲明	専門職員未配置市町における開発事業対応（試掘調査）を支援
9	廿日市市 天神	公民館改築	廿日市市	2,605	12/9	河村靖宏	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（試掘調査）を支援
10	安芸郡 熊野町	宅地造成	民間企業	923	1/29	河村靖宏	専門職員未配置市町における開発事業対応（試掘調査）を支援
合計		６事業 （９事業）		30,806 (35,292)			9地点（12地点）の試掘調査を実施，埋蔵文化財包蔵地３箇所を確認

＊「合計」の項のカッコ内は，市町教育委員会の支援として実施した試掘調査の実績をあわせた値

第２章　試掘・確認調査の成果

１　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画に係る試掘調査

（１）亀居城関連遺跡

所　在　地：大竹市小方一丁目

調 査 目 的：一般国道２号岩国・大竹道路建設計画に係る埋蔵文化財の有無及び範囲の確認

開発事業者：国土交通省中国地方整備局広島国道事務所

調査年月日：平成 26 年７月 29 日～平成 26 年８月６日

調査対象面積：14,920 ㎡

調 査 結 果：埋蔵文化財包蔵地「亀居城関連遺跡」（近世，その他の遺跡，780 ㎡）を確認した。

調 査 概 要：

今回の試掘地点は，周知の埋蔵文化財包蔵地「亀居城跡」の南側にあたる。試掘地点は，地形から東部，中央，西部に分けることができる。試掘範囲東部は，妙現丸西側城壁裾部の低地に位置しており，平成 25 年度の試掘調査で確認した「亀居城跡と近世山陽道に挟まれた平坦地」の南西側にあたる。試掘範囲中央は，慶長十六年の亀居城取り壊しとともに廃寺となったとされる伝円通寺跡の南側山裾にあたる。試掘範囲西部は，卸場川両岸の緩斜面上に開けた耕作地で，近年宅地化がすすんでいる。

第１図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000）
（国土交通省国土地理院発行 1:25,000 地形図「大竹」を使用）

基本層序は，Ⅰ層＝客土　Ⅱ層＝整地層①　Ⅲ層＝自然堆積層　Ⅳ層＝整地層②（試掘範囲東部のみに存在）　Ⅴ層＝基盤層である。

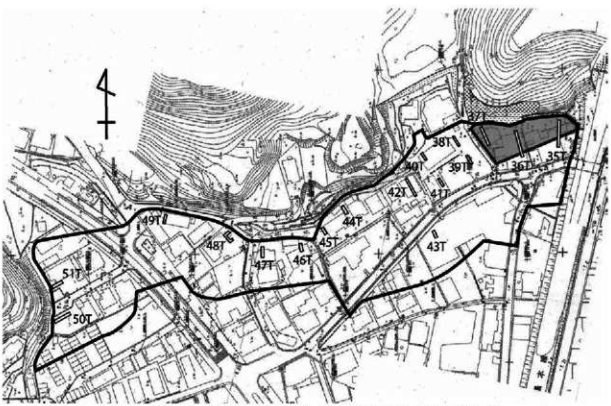
①　試掘範囲東部（35T～43T）

試掘調査の結果，35T・36Tにおいて，近世以降に構築されたと考えられる石列と，締りのある整地層上の焼土層等を確認した。石列より南側に海砂の堆積（Ⅲ層）がみられることから，石列の用途は，護岸または汐留的な機能であったと考えられる。37Tにおいては，石列は確認できなかったが，35T・36Tで確認した石列を結んだラインの延長線上に石列が存在する可能性はある。また，35T整地層（Ⅳ層）からは近世後半期を中心時期とする陶磁器片が出土，整地層上面の焼土層から焼けた土壁片・石片・炭化材等が出土した。土層の堆積状況から，この地点は，平成 24 年度の試掘調査で確認された妙現丸南東側の町屋跡西端に連続する部分にあたると考えられるが，遺構の密度は低く確認された遺構面も１面のみであった。

38T～41Tは，『亀居城　第３号』（亀居城跡保存会　1982 年発行）に記載された「水溜石垣」の南側にあたる。41Tの現地表面から約 1.5mの深度で砂層（Ⅲ層）を確認したことから，耕地となる以前は，海岸の砂浜に近い低地であったことが窺える。42Tでは土坑を確認したが，内部から明治九年製二銭銅貨と貝殻片等が出土したことから，近代以降の攪乱坑と考えられる。

②　試掘範囲中央（44T～47T）

試掘調査の結果，遺構・遺物は確認できなかった。44T・45Tについては，「伝円通寺跡」の山裾南側にあたり，寺院に関連する遺物の出土を想定したが，客土（Ⅰ層）の下層に深く堆積した



第２図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城関連遺跡）試掘坑位置図（1:2,000）

褐色土（Ⅱ層）から遺物は出土せず，深度２ｍ弱で水が湧き出した。褐色土層は単層で人為的な作用の痕跡は見当たらない。また，西側の 46Ｔ・47Ｔについては，深度２ｍ程度で砂層の堆積を確認しており，御場川東岸の河口付近であったと考えられる。

③　試掘範囲西部（48Ｔ～51Ｔ）

試掘調査の結果，遺構・遺物は確認できなかった。48Ｔ・49Ｔは，Ⅱ層の下に灰色シルト（Ⅲ層）の堆積が見られ，その下層に海砂が堆積している。50Ｔでは地表下約 1.8ｍで花崗岩質の基盤層を確認したが，51Ｔでは地表下約 2.2ｍまで川砂層の堆積が見られ基盤層に到達しない深度で湧水があった。この範囲での出土遺物は近代以降のものを含めても皆無であり，生活の痕跡は全く認められない。

今回の試掘地点に最も近い 31Ｔ（平成 25 年度試掘坑）では，以前は海であった場所を埋め立てて近世の生活面としているが，35Ｔにおいては，丘陵裾部から続く山由来の基盤層上を整地して生活面としていることが確認された。

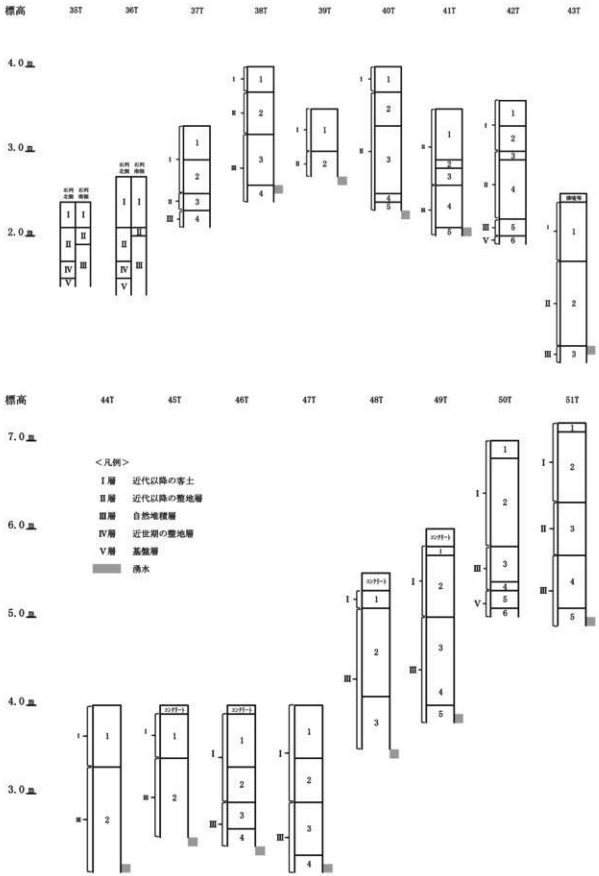
35Ｔでは，近世の整地層（Ⅳ層）から町屋跡に関連すると考えられる生活面を部分的に確認した。遺構面は，現地表面から 0.7～0.8ｍ程度の深さに存在し，焼土層から陶磁器片・焼けた土壁片・炭化物等が出土し，過去の試掘調査等で確認した焼土を含む遺構面との連続性が認められる。

35Ｔ・36Ｔにおいては，石列を確認した。35Ｔの石列は，町屋跡と考えられる遺構面を切るように構築されていることから，町屋跡の生活面が機能していた時期よりやや新しい時期の構築物と考えられる。36Ｔの石列は，35Ｔで確認した石列の延長線上よりやや南側に存在し，35Ｔよりやや大きい石材が使用されている。石列北側において焼土層や近世の遺物は出土しておらず，この辺りが町屋の西限であったと考えられる。37Ｔは近代以降の攪乱坑によって土層は乱れており，近世以前の遺物も確認できなかったことから，37Ｔより東側の範囲を埋蔵文化財包蔵地とした。38Ｔ以西においては，埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

第３図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城関連遺跡）石列平面図（1:500）

表４　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城関連遺跡）試掘坑所見

トレンチ名	規模（長さ×幅×最大深度，m）	調　査　所　見
35T	15.0×1.4×1.0	石列，土坑を確認 現地表面から深さ0.7mで整地面と焼土層を確認 瓦片，陶磁器片，古銭（寛永通宝）が出土
36T	15.0×1.2×1.3	石列を確認 現地表面から深さ1.0mで整地面を確認
37T	8.0×1.0×1.1	近代以降の攪乱坑（ビール瓶等を含む）を確認
38T	5.0×1.2×1.6	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.4mで湧水
39T	4.0×1.0×1.0	遺構・遺物は確認できなかった。 深度0.8mで湧水
40T	4.0×1.2×1.7	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.7mで湧水
41T	5.0×1.2×1.5	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.5mで湧水
42T	10.0×1.4×1.5	遺構・遺物は確認できなかった。 現地表面から深さ0.6mで整地面（時期不明）を確認
43T	3.0×1.5×2.0	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.8mで湧水
44T	5.0×1.2×2.0	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.8mで湧水
45T	4.0×1.5×1.7	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.5mで湧水
46T	4.0×1.2×1.6	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.6mで湧水
47T	4.0×1.2×1.8	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.8mで湧水
48T	6.0×1.2×2.0	遺構・遺物は確認できなかった。 深度2.0mで湧水
49T	4.0×1.2×2.2	遺構・遺物は確認できなかった。 深度2.1mで湧水
50T	6.0×1.5×1.8	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.8mで花崗岩質基盤層
51T	5.0×1.2×2.2	遺構・遺物は確認できなかった。 深度2.2mで湧水



第４図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城関連遺跡）試掘坑土層堆積状況概念図

37T東壁
1 5Y 6/3 オリーブ黄色土
(砂質 客土 しまりなし)
2 5Y 6/3 オリーブ黄色土
(砂質 客土 礫塊片・瓦片を含む)
3 2.5Y 4/1 黄灰色土
(砂質 近代以降の瓦礫・瓦小片を含む)
4 2.5Y 6/4 にぶい黄色土
(砂質 自然堆積 砂粒を含む)

38T東壁
1 5Y 8/4 淡黄色土
(砂質 客土)
2 2.5Y 5/1 黄灰色土
(やや粘質 締作土)
3 2.5Y 4/2 暗灰黄色土
(やや粘質 堆積土)
4 10YR 5/2 灰黄褐色土
(シルト質 基盤の自然堆積)

39T西壁
1 2.5Y 5/1 黄灰色土
(やや粘質 締作土)
2 5Y 8/3 淡黄色土
(砂質 畝の石垣構築時の客土)

40T北壁
1 5Y 6/3 オリーブ黄色土
(砂質 客土 しまりなし)
2 2.5Y 5/1 黄灰色土
(やや粘質 締作土)
3 5Y 6/3 オリーブ黄色土
(砂質 客土 小礫を多く含む)
4 5Y 6/2 灰オリーブ色土
(砂質 炭状に炭化)
5 2.5Y 4/1 黄灰色土
(シルト質 きめが細かい自然堆積砂)

41T西壁
1 2.5Y 5/1 黄灰色土
(やや粘質 締作土)
2 2.5Y 5/4 黄褐色土
(やや粘質 締作土)
3 2.5Y 5/1 黄灰色土
(やや粘質 締作土)
4 5Y 5/3 灰オリーブ色土
(砂質 細い砂粒を多く含む)
5 2.5Y 7/4 浅黄色土
(砂質 湿った自然堆積砂)

42T東壁
1 2.5Y 8/4 淡黄色土
(砂質 客土)
2 2.5Y 5/4 黄褐色土
(やや粘質 客土)
3 10YR 6/4 にぶい黄褐色土
(やや粘質 小礫を多く含む)
4 10YR 4/4 にぶい黄褐色土
(やや粘質 石片・炭化物片を含む)
5 2.5Y 7/4 浅黄色土
(砂質 自然堆積砂)
6 10YR 8/6 黄橙色土
(やや砂質 基盤層)

43T東壁
1 2.5Y 7/4 浅黄色土
(砂質 客土 しまりなし)
2 2.5Y 4/1 黄灰色土
(シルト質 注記初期)
3 5G 5/1 緑灰色土
(砂質 きめの細い自然堆積砂)

44T東壁
1 10YR 7/4 にぶい黄橙色土
(砂質 馬糞土 客土)
2 7.5YR 4/3 褐色土
(やや粘質 小礫を含む)

45T東壁
1 7.5YR 5/3 にぶい褐色土
(砂質 客土 3cm大の小礫を含む)
2 7.5YR 4/4 褐色土
(やや粘質 1cm～3cm大の小礫を含む)

46T東壁
1 7.5YR 5/3 にぶい褐色土
(砂質 客土 水道管埋設痕)
2 2.5Y 8/4 淡黄色土
(砂質 客土 きめが細かい)
3 5R 4/1 暗青灰色土
(砂質 自然堆積 腐ってヘドロ臭い)
4 7.5Y 7/2 灰白色土
(砂質 自然堆積 きめが細い)

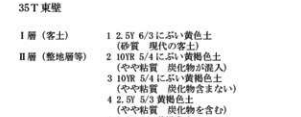
47T北壁
1 7.5YR 5/3 にぶい褐色土
(砂質 客土 水道管埋設痕)
2 2.5Y 8/4 淡黄色土
(砂質 客土 きめが細かい)
3 5R 4/1 暗青灰色土
(砂質 自然堆積 腐ってヘドロ臭い)
4 7.5Y 7/2 灰白色土
(砂質 自然堆積 きめが細い海砂)

48T南西壁
1 2.5Y 8/4 淡黄色土
(砂質 客土)
2 10YR 5/3 にぶい黄褐色土
(やや粘質 山砂系の堆積土)
3 7.5Y 4/1 灰色土
(シルト(泥砂) 自然堆積)

49T東壁
1 5Y 8/4 淡黄色土
(砂質 客土 しまりなし)
2 2.5Y 6/3 にぶい黄色土
(やや粘質 客土)
3 N5 灰色土
(やや粘質 1cm～2cm大の小礫を含む)
4 N4 灰色土
(シルト質 自然堆積)
5 5Y 8/3 淡黄色土
(砂質 自然堆積 きめが細かい)

50T北壁
1 10YR 4/3 にぶい黄褐色土
(表土 腐植土)
2 2.5Y 8/4 淡黄色土
(砂質 客土)
3 7.5Y 5/1 灰色土
(シルト質 自然堆積 1cm大の小石を含む)
4 7.5YR 6/4 にぶい橙色土
(やや粘質 基盤層がブロック状に混入)
5 7.5YR 4/2 灰褐色土
(やや粘質 1cm～5cm大の小礫を含む)
6 7.5YR 7/4 にぶい橙色土
(砂質 基盤層)

51T北壁
1 10YR 4/3 にぶい黄褐色土
(表土 腐植土)
2 2.5Y 8/4 淡黄色土
(砂質 客土)
3 5Y 6/1 灰色土
(砂質 きめが細い)
4 N4 灰色土
(シルト質 自然堆積 ヘドロ臭い)
5 7.5Y 7/2 灰白色土
(砂質 自然堆積 小礫を多く含む)



35T東壁

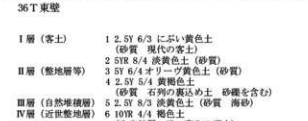
Ⅰ層（客土）
1 2.5Y 6/3 にぶい黄色土
(砂質 現代の客土)

Ⅱ層（整地層等）
2 10YR 5/4 にぶい黄褐色土
(やや粘質 炭化物が混入)
3 10YR 5/4 にぶい黄褐色土
(やや粘質 炭化物含まない)
4 2.5Y 5/3 黄褐色土
(やや粘質 炭化物を含む)
5 2.5Y 5/3 黄褐色土
(やや粘質 陶磁器片・炭化物を含む)

Ⅲ層（自然堆積層）
6 7.5Y 8/2 灰白色土
(砂質 海砂 波うちながらやや下る)

Ⅳ層（近世整地層）
7 2.5Y 5/3 黄褐色土
(やや砂質 壁土片等を含む)
8 10YR 4/4 褐色土
(やや粘質 炭化物を含む)
9 10YR 6/4 にぶい黄橙色土
(やや粘質 基盤層がブロック状に混入)

Ⅴ層（基盤層）
10 2.5Y 7/4 浅黄色土
(やや砂質 基盤層)



36T東壁

Ⅰ層（客土）
1 2.5Y 6/3 にぶい黄色土
(砂質 現代の客土)
2 5YR 8/4 淡黄色土（砂質）
3 5Y 6/4 オリーブ黄色土（砂質）

Ⅱ層（整地層等）
4 2.5Y 5/4 黄褐色土
(砂質 石列の裏込め土 砂礫を含む)

Ⅲ層（自然堆積層）
5 2.5Y 8/3 淡黄色土（砂質 海砂）

Ⅳ層（近世整地層）
6 10YR 4/4 褐色土
(やや粘質 洗い流みの埋土)
7 5Y 8/6 黄色土
(やや粘質 基盤層小ブロックを含む)
8 2.5Y 5/4 黄褐色土
(砂質 馬砂土) 整地層

Ⅴ層（基盤層）
9 2.5Y 7/4 浅黄色土
(やや砂質 基盤層)

第５図 一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地試掘坑 35T・36T東壁土層断面図（1:50）

a　試掘地点東部近景　（東から）

b　35T　（北から）

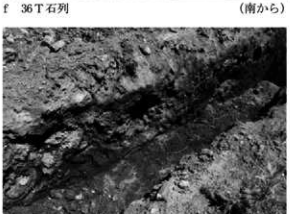
c　35T 石列　（南から）

d　35T 東壁焼土層　（北西から）

e　36T　（北から）

f　36T 石列　（南から）

g　36T 石列　（北から）



h　37T　（北西から）

a　38Ｔ　（北西から）

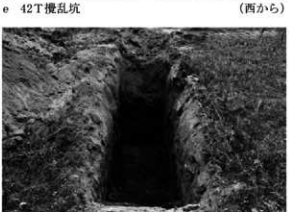
b　39Ｔ　（南から）

c　40Ｔ　（南から）

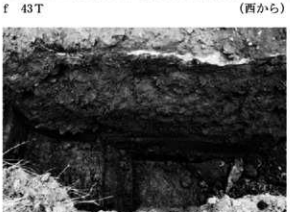
d　41Ｔ　（南から）

e　42Ｔ攪乱坑　（西から）

f　43Ｔ　（西から）



g　44Ｔ　（北から）



h　45Ｔ　（西から）

a　46Ｔ　（西から）

b　47Ｔ　（南から）

c　48Ｔ　（西から）

d　49Ｔ　（北西から）

e　50Ｔ　（北東から）

f　51Ｔ　（北東から）

g　35ＴⅣ層焼土層出土遺物（１：３）

h　35ＴⅣ層出土遺物（陶磁器類）（１：３）

（2）亀居城跡

所　在　地：大竹市小方一丁目

調 査 目 的：一般国道２号岩国・大竹道路建設計画に係る埋蔵文化財の有無及び範囲確認

開発事業者：国土交通省中国地方整備局広島国道事務所

調査年月日：平成 26 年 12 月 25 日～平成 26 年 12 月 26 日

調査対象面積：200 ㎡

調 査 結 果：埋蔵文化財包蔵地「亀居城跡」（近世，城跡，200 ㎡）を確認した。

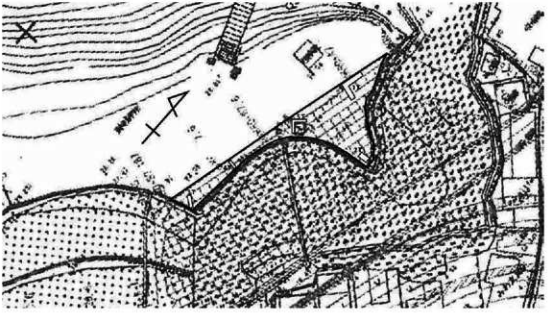
調 査 概 要：

今回の試掘地点は，周知の埋蔵文化財包蔵地「亀居城跡」の郭の一つである「妙現丸」（出典：『亀居城　第３号』亀居城跡保存会　1982 年発行）（厳神社境内）に位置する。試掘地点の標高は，約 25m（北端斜面部）～28m（郭平坦部）である。

対象範囲は，妙現丸の東側城壁付近の平坦部であるが，郭北半は過去の自然災害で部分的に崩落している。試掘坑は，５か所（１Ｔ～５Ｔ）を設定し，人力で掘削をおこなった。基本層序は，Ⅰ層＝腐植土　Ⅱ層＝基盤層（一部基盤層を削って成形した整地層を含む）ある。

１Ｔは，妙現丸郭部分の北東端付近の東に下る緩斜面に設定した。腐植土（Ⅰ層）上に 20～40 ㎝大の自然石を十数個確認したが，現代の瓦が石の隙間に混入しており，社の建替え時に投棄されたものと考えられる。腐植土の下層は，花崗岩質の基盤層（Ⅱ層）となっている。

２Ｔは，１Ｔ南側の郭が東方向に張り出した平坦面に設定した。建物跡等の立地に適していると考えられたが，0.1m程度堆積した腐植土（Ⅰ層）の下層は，すぐに花崗岩質の基盤層（Ⅱ層）となっており，柱穴跡等は確認できなかった。



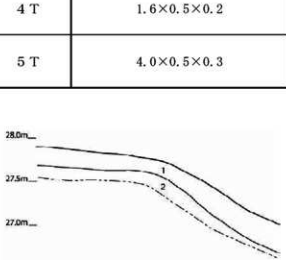
第６図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城跡）試掘坑位置図（1:300）

３Ｔは，対象範囲南端のコンクリート擁壁の近くに，４Ｔは，対象範囲中央のコンクリート擁壁付近に設定した。共に灰黄褐色の薄い腐植土（Ⅰ層）の下に，硬い花崗岩質の基盤層（Ⅱ層）が存在しており，遺構・遺物は確認できなかった。５Ｔは，対象範囲やや北寄りにある一辺が一間程度の正方形の石組で囲まれた植え込みの外周部分に設定した。以前から何か構造物があった場所であることを想定して掘削を行なったが，腐植土（Ⅰ層）は浅く，深度 0.2m程度で基盤層（Ⅱ層）に達し，人為的な痕跡は確認できなかった。

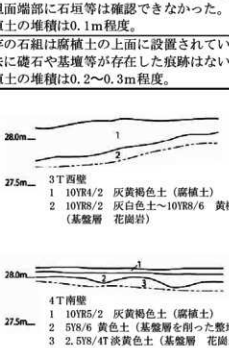
今回の試掘調査の結果，土塁や石垣等は確認できなかったが，郭平坦部は，花崗岩質岩山を削って造りだしており，海岸付近に半島状に突き出した丘陵という自然地形を活かした郭跡であることが判明した。

表５　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城跡）試掘坑所見

トレンチ名	規模（長さ×幅×最大深度，m）	調　査　所　見
１Ｔ	7.0×1.0×0.4	郭肩部分は基盤層上に盛土して形成されていたと考えられ，盛土の一部が流失している。 腐植土の堆積は，0.2～0.4m程度。
２Ｔ	2.2×1.4×0.4	基盤層の岩盤を削って，平坦部を形成したと考えられる。 腐植土の堆積は0.1m程度。
３Ｔ	2.0×0.7×0.3	基盤層は海側（東側）にやや傾斜している。 平坦面端部に土塁，石垣等は確認できなかった。 腐植土の堆積は0.1～0.3m程度。
４Ｔ	1.6×0.5×0.2	基盤層が地表面に露出している部分がある。 平坦面端部に石垣等は確認できなかった。 腐植土の堆積は0.1m程度。
５Ｔ	4.0×0.5×0.3	現存の石組は腐植土の上面に設置されている。 過去に礎石や基壇等が存在した痕跡はない。 腐植土の堆積は0.2～0.3m程度。



1Ｔ北壁
1　10YR4/3 にぶい黄褐色土（腐植土）
2　10YR8/6　黄橙色土（基盤層　花崗岩）



第７図　一般国道２号岩国・大竹道路建設計画地（亀居城跡）１Ｔ・３Ｔ・４Ｔ土層断面図（1:40）

a　１Ｔ　（東から）

b　１Ｔ　（南から）

c　２Ｔ　（南から）

d　３Ｔ　（北西から）

e　４Ｔ　（北から）

f　５Ｔ　（南から）

2　広島西部山系直轄砂防事業に係る試掘調査

所　在　地：大竹市小方

調 査 目 的：広島西部山系直轄砂防事業に係る埋蔵文化財の有無等の確認

開発事業者：国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所

調査年月日：平成26年6月26日～平成26年6月27日

調査対象面積　：1,186㎡

調 査 結 果：埋蔵文化財は確認できなかった。

調 査 概 要：

試掘地点は，西方向に伸びる丘陵の裾部（標高約 35～42m）に位置する。現地踏査時に，試掘地点南西側の山裾に石組の構造物が存在することが確認されている。試掘地点には平坦な部分が2か所（上段，下段）存在しており，まず，上段の平場（標高約 42mの地点）から肩をつくって急に下る斜面部に東西方向に1Tを設定，切株を挟んでさらに西側の斜面から下段の平坦面にかけて2Tを設定して掘削を行った。1Tにおいては，標高 40m付近でやや隙間のある石列を確認したが遺物は伴わなかった。2Tにおいては，腐植土下層から掘り込まれた窪みから錆びた丸釘と炭化物片が出土した。

3Tは下段北側（標高約 36m）平坦面に東西方向に，4Tは下段南側の北西から南東方向に下る緩斜面上に設定した。3Tにおいては，1Tと同様の石列を確認したが遺物は伴わない。4Tにおいては，遺構・遺物ともに確認できなかった。試掘地点南西側の2m四方の基壇状石組みについては，煉瓦やコンクリート片が組み込まれ，地上 1.2m程度まで鉄製の錆びた水道管が残存していたことから，近代以降に休憩所の床面として改変を受けた構造物であると判断した。

第8図　広島西部山系直轄砂防事業計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000）
（国土交通省国土地理院発行 1:25,000 地形図「大竹」を使用）

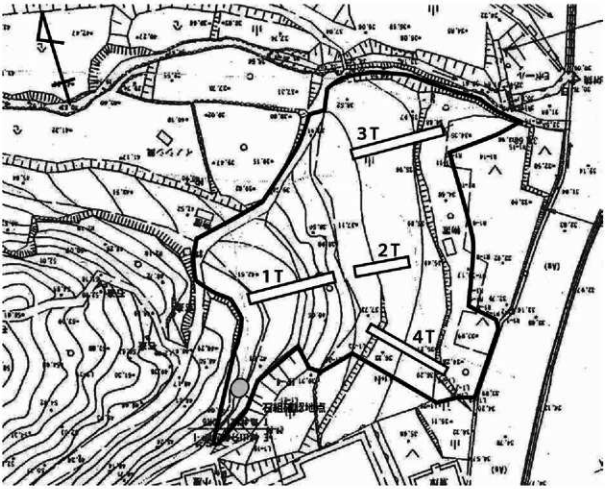
今回の試掘調査において，試掘坑から中世以前の遺構または遺構に伴う遺物は確認できなかった。１Ｔで確認した石列は，山道から土砂の流失を防ぐために斜面肩部に設置された土留めと考えられ，３Ｔで確認した石列は，下段に残存する畑地に同様の石列が垣状に残存することから耕作地の境界に築かれた石垣の一部と考えられる。調査区西側の平場に残存する石組構造物ついては，覆土から近代以降の大甕片瓦片が出土したが，近世以前の遺構・遺物等は確認できなかった。以上の点から，試掘対象範囲に埋蔵文化財包蔵地は存在しないと判断した。

＜基本層序＞

Ⅰ層　腐植土　10YR3/3　暗褐色土（現地表面から厚さ約 20～30cm）

Ⅱ層　自然堆積土　10YR5/4　にぶい黄褐色土（やや粘質　厚さ 20～30cm）

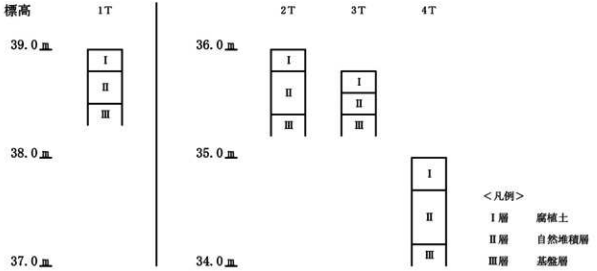
Ⅲ層　基盤層　7.5YR6/6 橙色土（砂質　淡橙色～白色砂粒を多く含む）



第９図　広島西部山系直轄砂防事業計画地試掘坑位置図（1:500）

表6　広島西部山系直轄砂防事業計画地試掘坑所見

トレンチ名	規模（長さ×幅×最大深度，m）	調　査　所　見
1T	9.0×1.2×0.8	石列（時期不明）を確認
2T	5.5×1.2×0.6	攪乱坑（近代以降）を確認
3T	7.0×1.2×1.0	石列（時期不明）を確認
4T	8.0×1.0×0.8	遺構・遺物は確認できなかった。



第10図　広島西部山系直轄砂防事業計画地試掘坑土層堆積状況概念図

第11図　広島西部山系直轄砂防事業計画地石組平面図（1:40）

a　1Ｔ　（南西から）

b　2Ｔ　（西から）

c　3Ｔ　（西から）

d　4Ｔ　（北東から）

e　石組　（北東から）

f　石組　（南西から）

3　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業に係る試掘調査
（要試掘地点 No. 4）

所　在　地：廿日市市大野

調 査 目 的：二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業に係る埋蔵文化財の有無確認

開発事業者：広島県西部建設事務所

調 査 期 間：平成 26 年 10 月 14 日～平成 26 年 10 月 16 日

調査対象面積：3,400 ㎡

調 査 結 果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調 査 概 要：

試掘調査対象地周辺には大野郷遺跡（縄文時代，包含地）が存在し，標高２ｍ前後で遺物包含層が確認されていることから，埋蔵文化財包蔵地の有無，範囲及び内容を確認するため試掘調査を実施した。今年度の試掘対象地である要試掘地点No.４は，平成 25 年度に試掘調査を行なった要試掘地点 No. ５の南側に隣接しており，対象地の現況は旧耕地及び宅地跡である。平成 25 年度に実施した試掘調査では，標高約５ｍの現地表面から深度 1.6～2.4ｍまで客土が堆積し，その下層で灰白色粗砂・灰黄色細砂のシルト層～砂層を確認している。出土層位不明の陶磁器片・土器片が極少量出土したが，遺構等は確認されていない。今年度の調査範囲は，標高 20ｍ程度の低丘陵

第 12 図　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000）
（国土交通省国土地理院発行 1:25,000 地形図「厳島」を使用）

西側を南流する永慶寺川の西側に位置し，旧耕地の標高は約3.5m，宅地跡の標高は約5.0mである。試掘坑は，旧耕地に1か所（1T），宅地跡に4か所（2T～5T）を設定した。1Tにおいては，現地表面から深度約1m（標高約2.5m）まで客土（Ⅰ層）と耕作土（Ⅱ層）が堆積しており，その下層に花崗岩風化土（Ⅲa層），最下層に淡黄色川砂（Ⅳ層，標高約2.2m）が堆積している。標高約1.7mまで川砂を掘下げると湧水がある。

2T～5Tにおいては，現地表面から深度約2.2～2.8m（標高2.8～2.2m程度）まで宅地造成時の客土（Ⅰ層）と客土（Ⅱ層）が堆積しており，その下層に，黄灰色～灰色シルト層（Ⅲb層），最下層に淡～浅黄色川砂層（Ⅳ層，標高1.5～2.4m）が堆積している。

1Tにおいては，耕作土下層の砂質土と川砂層直上で底面と土層断面を精査し，2T～5Tにおいては，シルト層～川砂層を中心に土層断面を精査したが，遺構・遺物は確認できなかった。今回の試掘調査の結果，1Tにおいては，シルト層は存在せず，2T～5Tにおいては，標高2.2～2.8mでシルト層を確認している。シルト層の厚さは0.4～1.2mで場所によって差があることから，過去において永慶寺川は蛇行しており，試掘調査対象地の大半は，水流の停滞した湾曲部の低湿地であったと考えられる。よって，今回の試掘調査範囲内に埋蔵文化財包蔵地は存在しないと判断した。

＜基本層序＞

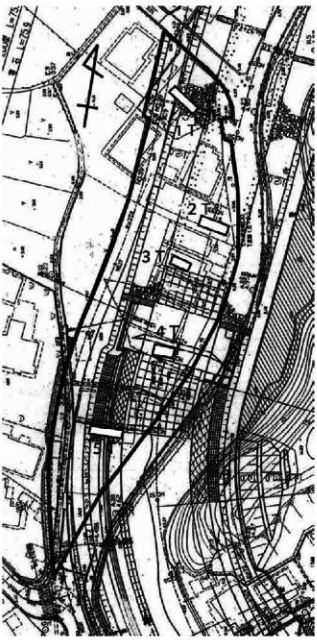
Ⅰ層＝客土（現代）

Ⅱ層＝耕作土または整地層

Ⅲa層＝真砂土

Ⅲb層＝シルト層

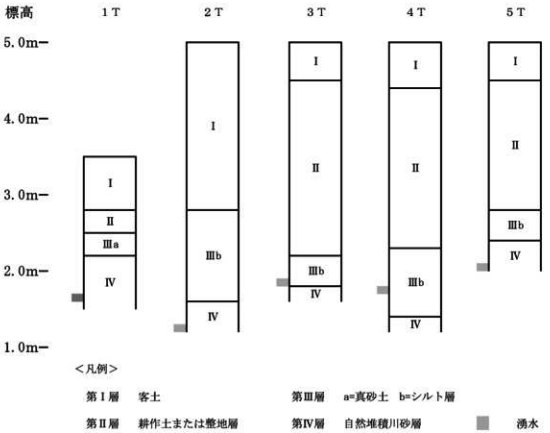
Ⅳ層＝自然堆積層（川砂）



第13図　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業計画地試掘坑配置図（1:1,000）

表 7　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業計画地試掘坑所見

トレンチ名	規模（長さ×幅×最大深度，m）	調　査　所　見
1 T	9.0×3.0×2.0	遺構・遺物は確認できなかった。 標高2.5mで真砂土，標高2.2mで川砂確認 標高約1.7mで湧水
2 T	8.0×4.0×3.4	遺構・遺物は確認できなかった。 標高2.8mでシルト，標高2.1mで川砂確認 標高約1.3mで湧水
3 T	5.0×3.0×3.2	遺構・遺物は確認できなかった。 標高2.2mでシルト，標高1.8mで川砂確認 標高約1.9mで湧水
4 T	7.0×4.0×3.6	遺構・遺物は確認できなかった。 標高2.3mでシルト，標高1.4mで川砂確認 標高約1.8mで湧水
5 T	9.0×3.0×3.0	遺構・遺物は確認できなかった。 標高2.8mでシルト，標高2.4mで川砂確認 標高約2.1mで湧水



第 14 図　二級河川永慶寺川高潮対策事業・統合河川整備事業計画地試掘坑土層堆積状況概念図

a　永慶寺川湾曲部と試掘地点　（南から）

b　試掘地点北側（手前４Ｔ）　（南西から）

c　１Ｔ　（南南東から）

d　２Ｔ　（北西から）

e　３Ｔ　（南から）

f　４Ｔシルト層と砂礫　（北東から）

g　４Ｔ　湧水を伴う川砂層　（北東から）

h　５Ｔ　（南東から）

4　一般県道弁財天加計線道路改良事業に係る試掘調査

所　在　地：山県郡安芸太田町大字土居

調 査 目 的：一般県道弁財天加計線道路改良事業に係る埋蔵文化財の有無及び範囲確認

開発事業者：広島県西部建設事務所

調査年月日：平成 26 年 11 月 11 日～平成 26 年 11 月 18 日

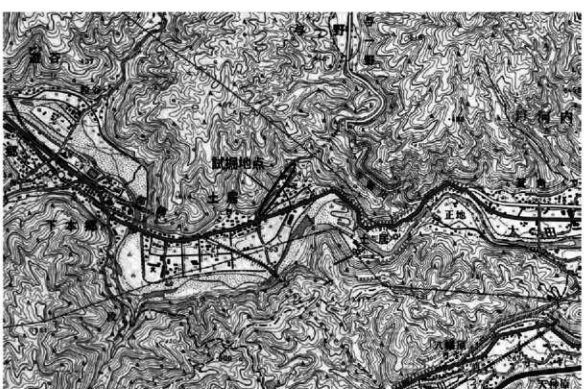
調査対象面積：約 3,800 ㎡

調 査 結 果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調 査 概 要：

今回の試掘調査対象地の近接地には，周知の埋蔵文化財包蔵地「土居 1 号遺跡」（弥生・包含地）が存在する。また，対象地から南方に下った河岸段丘上に「土居 2 号遺跡」（弥生・包含地），「土居 3 号遺跡」（古墳・包含地）及び「土居 4 号遺跡」（弥生・包含地）が存在している。平成 24 年度の現地踏査の結果，土居 1 号遺跡の立地と同様の丘陵緩斜面部等，集落遺跡の存在が想定される地点を確認したことから，埋蔵文化財包蔵地の有無，範囲及び内容を確認するため試掘調査を実施した。

試掘地点の地形は，約 200m南側を東流する太田川に沿った河岸段丘と，北側に位置する標高 497mの山頂から南方へ派生する尾根筋が崖状に下った山裾の間に位置する。

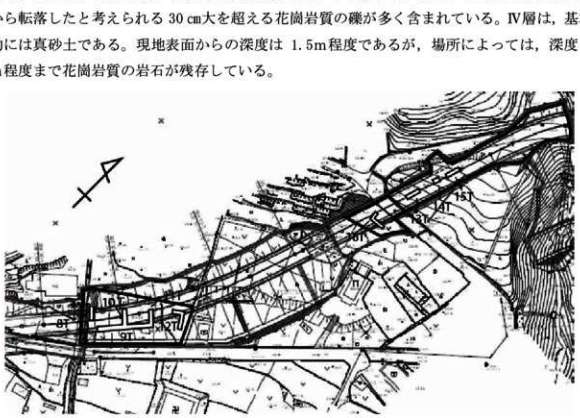


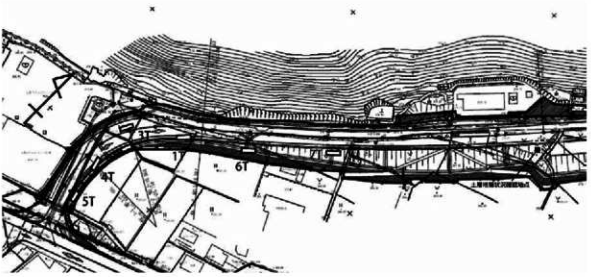
第 15 図　一般県道弁財天加計線道路改良事業計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000）

（国土交通省国土地理院発行 1：25,000 地形図「戸河内」「坪野」を使用）

試掘地点は，南西部の①水田地帯（標高 264～266m），中央部の②宅地跡付近（標高 280 m），北東部の丘陵裾から南西に下る③緩斜面部（標高 295～299m）の３か所に分かれる。

①水田地帯の試掘坑は７か所（１Ｔ～７Ｔ）を設定して掘削をおこなった。基本層序はⅠ層＝耕作土　Ⅱ層＝整地層　Ⅲ層＝自然堆積層　Ⅳ層＝基盤層である。Ⅱ層は 10 ㎝～30 ㎝大の礫を多く含んでおり，丘陵部からの流石を使って水田開墾時に整地されたものと考えられる。Ⅲ層は，自然堆積と考えられる黒褐色土が厚く堆積しているが，この層にも丘陵斜面から転落したと考えられる 30 ㎝大を超える花崗岩質の礫が多く含まれている。Ⅳ層は，基本的には真砂土である。現地表面からの深度は 1.5m程度であるが，場所によっては，深度２m程度まで花崗岩質の岩石が残存している。





第 16 図　一般県道弁財天加計線道路改良事業計画地試掘坑位置図（1:1,250）

②宅地跡の試掘坑は5か所（８Ｔ～12Ｔ）を設定して掘削をおこなった。調査区の東側近接地には，弥生時代の包蔵地である土居１号遺跡が存在する。調査範囲の西端は沢筋であるが，東側はテラス状の平坦面が連続するうちの最下段になっている。基本層序は，Ⅰ層はテラス状平坦面の造成時に削平され存在しないが，造成時の整地層（Ⅱ層）と谷筋に傾斜しながら自然堆積したⅢ層が存在し，その下層に花崗岩風化土の基盤層（Ⅳ層）を確認した。

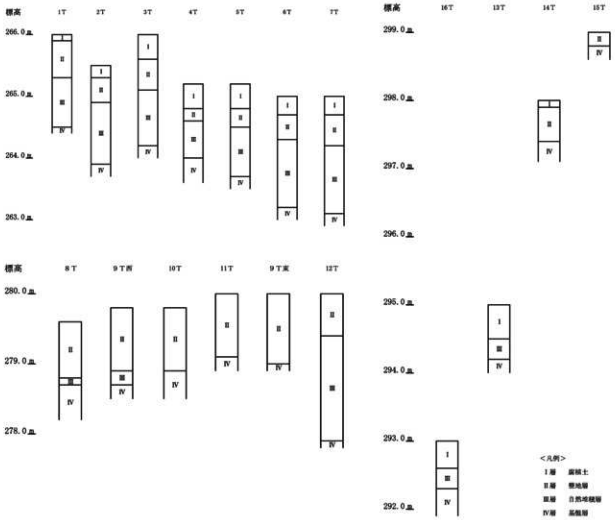
12Ｔにおいて，Ⅲ層上面（現地表面からの深度 0.3～0.4m）で弥生土器の磨滅した小片を確認したため，底面を精査しながら遺物を探したところ，弥生時代～中世の素焼き土器小片数点と安山岩製の石器未成品と推定される破片を発見した。遺物を含む土層の厚さを確認するため 12Ｔの南端付近を深掘りしたところ，土層の厚さは 1.2m以上あり，斜面上方の遺物を含んだ土が流失し，やや傾斜が緩くなった 12Ｔ付近に堆積した結果，異なる時期の遺物がⅢ層から出土した原因であることが判明した。

表８　一般県道弁財天加計線道路改良事業計画地試掘坑所見

トレンチ名	規模（長さ×幅×最大深度，m）	調　査　所　見
１Ｔ	3.0×1.5×1.5	遺構・遺物は確認できなかった。
２Ｔ	4.0×1.5×1.7	遺構・遺物は確認できなかった。
３Ｔ	3.0×1.2×2.0	遺構・遺物は確認できなかった。
４Ｔ	3.0×1.0×1.6	遺構・遺物は確認できなかった。
５Ｔ	2.0×0.8×1.5	遺構・遺物は確認できなかった。
６Ｔ	5.0×1.2×1.8	遺構・遺物は確認できなかった。
７Ｔ	3.0×1.2×2.0	遺構・遺物は確認できなかった。
８Ｔ	5.0×1.2×1.5	遺構・遺物は確認できなかった。
９Ｔ	20.0×1.2×1.0	遺構・遺物は確認できなかった。
１０Ｔ	5.0×1.2×1.3	遺構・遺物は確認できなかった。
１１Ｔ	5.0×1.2×1.1	遺構・遺物は確認できなかった。
１２Ｔ	9.0×1.2×1.2	弥生～中世の土器小片出土
１３Ｔ	5.0×1.2×0.9	遺構・遺物は確認できなかった。
１４Ｔ	2.0×1.2×1.2	遺構・遺物は確認できなかった。
１５Ｔ	4.0×1.2×0.4	遺構・遺物は確認できなかった。
１６Ｔ	8.0×1.2×1.0	縄文土器小片出土

③斜面部の試掘坑は４か所（13Ｔ～16Ｔ）を設定して掘削をおこなった。基本層序は，耕作土は存在せず，13Ｔ・16Ｔにおいては，自然堆積層（Ⅲ層）と花崗岩風化土とやや粘性のある浅黄色土の基盤層（Ⅳ層）を，14Ｔ・15Ｔにおいては，町道建設時の改変によって基盤層（Ⅳ層）まで削平が及んでいたため，自然堆積層は存在せず，基盤層の上層は整地土及び整地土残土による盛土（Ⅱ層）であった。

16Ｔにおいて，現地表面直下腐植土と斜面上方から徐々に堆積したと考えられる自然堆積層（Ⅲ層）の境目付近（深度 0.3～0.4m）から，縄文土器小片が，竹の根に絡んだ状態で出土した。Ⅲ層～基盤層直上を精査したが，遺構・遺物ともに発見できなかったことから，土器片は，斜面上方から流れ込んだ遺物と考えられる。



第 17 図　一般県道弁財天加計線道路改良事業計画地試掘坑土層堆積状況概念図

a　試掘地点南西部　（東から）

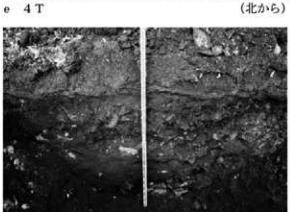
b　1 T　（西から）

c　2 T　（南から）

d　3 T　（西から）

e　4 T　（北から）

f　5 T　（南から）

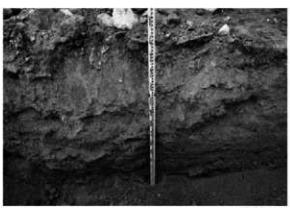


g　6 T　（南から）

h　7 T　（南西から）

a　８Ｔ　（南西から）

b　９Ｔ　（東から）



c　10Ｔ　（西から）

d　11Ｔ　（北から）

e　12Ｔ　（南から）

f　12Ｔ　（北東から）

g　12Ｔ　（東から）

h　８Ｔ～12Ｔ付近　（西から）

a　13T　（南西から）

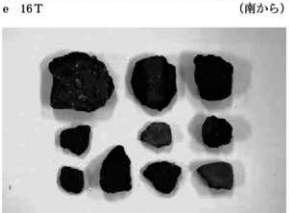
b　14T　（北から）

c　15T　（西から）

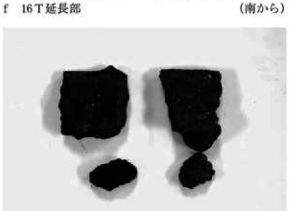
d　15T　（北から）

e　16T　（南から）

f　16T延長部　（南から）



g　12T出土遺物（２：３）



h　16T出土遺物（２：３）

5　一般県道瀬野呉線道路改良事業に係る試掘調査

（要試掘地点 No. 2，No. 3，No. 4）

所　在　地：安芸郡熊野町上深原～下深原

調 査 目 的：一般県道瀬野呉線道路改良事業に係る埋蔵文化財の有無及び範囲の確認

開発事業者：広島県西部建設事務所

調査年月日：平成 26 年 8 月 20 日～平成 26 年 8 月 29 日

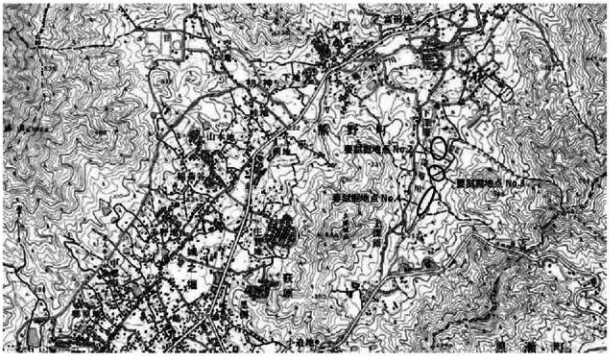
調査対象面積：6,700 ㎡

調 査 結 果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調 査 概 要：

今回調査した試掘地点は，北から要試掘地点 No. 2，No. 3，No. 4 の 3 か所である。試掘地点は，地形的には，土岐城山（標高 418m）から北西側に派生する丘陵部（No. 2・No. 3 地点，標高 235～242m）と，山裾の平坦地（No. 4 地点，標高 228～230m）に分かれる。

近隣には，土岐城山から深原川を挟んだ東側の低丘陵緩斜面に，東深原遺跡（標高 230～240m）が存在する。東深原遺跡では，局部磨製石斧等が出土している。また，東深原遺跡から数百メートル北の地点には，中近世の土師質土器が出土した下深原遺跡（標高 210～215m）が存在する。両遺跡とも，遺構は確認されていないが，深原川東岸の丘陵緩斜面という共通点があり，出土地点の周囲に集落跡等が存在する可能性があることから，試掘調査の対象となった。



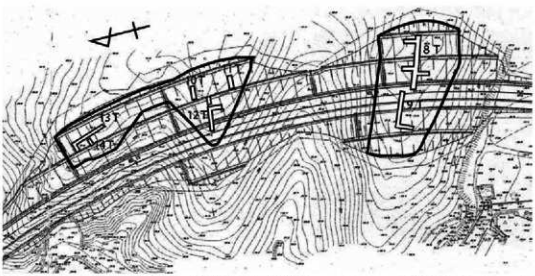
第 18 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000）

（国土交通省国土地理院発行 1：25,000 地形図「海田市」を使用）

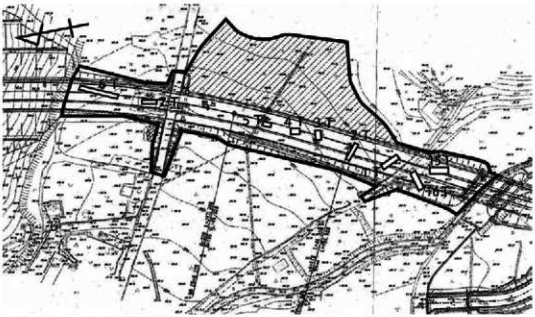
今回の試掘地点は，①深原川からやや離れている。②標高は近いが，地形的には丘陵尾根筋と浅い谷筋に近い平坦面と様相が異なる。という２点において，両遺跡とは地形的に異なる。丘陵尾根筋では，古墳を含む墓域及び集落跡を，山裾の平坦地では，集落跡または包含地を想定して調査をおこなった。以下，調査結果の概要を記す。

① 要試掘地点 No.２，No.３＝丘陵尾根筋（８Ｔ～14Ｔ）

遺構は確認できなかった。植林跡以外には現地表面下に手を加えられた形跡はない。基盤層は，やや頂部に近い地点は花崗岩質の黄白色岩質土，尾根筋を下った緩斜面部は花崗岩礫を含む橙色の粘質土（赤土）で，その上には0.3～0.6m程度の黄褐色土が堆積している。出土遺物は，近現代のもののみであった。



第 19 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地要試掘地点 No. 2 及び No. 3 試掘坑位置図（1:1, 500）



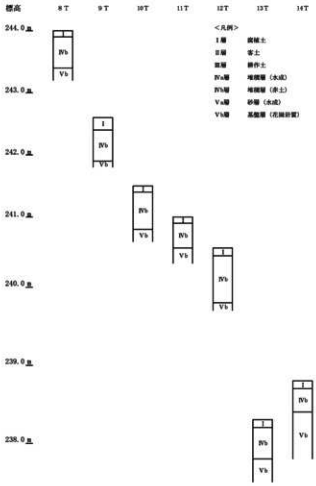
第 20 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地要試掘地点 No. 4 試掘坑位置図（1:1, 500）

② 要試掘地点 No.４＝山裾の平坦部（１Ｔ～７Ｔ，15Ｔ・16Ｔ）

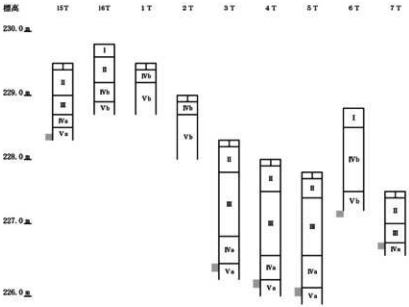
要試掘地点 No.４は，丘陵近くの緩斜面と浅い谷筋付近の旧耕作地に分けられる。No.４地点南端の15Ｔ・16Ｔ・１Ｔ・２ＴとNo.４地点北端の６Ｔは前者にあたり，No.４地点の中間を東西に横切る私道南側の３Ｔ～５Ｔと私道を挟んだ北側の７Ｔは後者にあたる。丘陵近くの地点では，崖面が露出しており平坦部や緩斜面部が狭い。６Ｔ付近では，なだらかな旧地形が残っている部分も存在したが，遺構・遺物は確認できなかった。旧耕作地付近については，開拓時にかなり深くまで手が加えられており，耕作土床土より下層を中心に精査したが，遺構・遺物ともに確認できなかった。

表９　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地試掘坑所見

トレンチ名	規模（長さ × 幅 × 最大深度，m）	調　査　所　見
１Ｔ	9.0×1.0×0.8	遺構・遺物は確認できなかった。
２Ｔ	4.0×1.2×1.0	遺構・遺物は確認できなかった。
３Ｔ	3.0×1.5×2.0	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.8mで湧水
４Ｔ	3.0×1.5×2.0	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.9mで湧水
５Ｔ	4.0×1.2×1.8	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.7mで湧水
６Ｔ	17.0×1.2×1.4	遺構・遺物は確認できなかった。
７Ｔ	5.0×1.2×1.1	遺構・遺物は確認できなかった。 深度0.8mで湧水
８Ｔ	30.0×1.2×0.8	遺構・遺物は確認できなかった。
９Ｔ	21.0×1.2×0.7	遺構・遺物は確認できなかった。
１０Ｔ	4.0×1.2×0.8	遺構・遺物は確認できなかった。
１１Ｔ	5.0×1.2×0.8	遺構・遺物は確認できなかった。
１２Ｔ	17.0×1.2×0.7	遺構・遺物は確認できなかった。
１３Ｔ	18.0×1.2×0.7	遺構・遺物は確認できなかった。
１４Ｔ	4.0×1.2×0.7	遺構・遺物は確認できなかった。
１５Ｔ	6.0×1.5×1.2	遺構・遺物は確認できなかった。 深度1.2mで湧水
１６Ｔ	5.0×1.2×1.1	遺構・遺物は確認できなかった。



第 21 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地要試掘地点 No. 2, No. 3 試掘坑土層堆積状況概念図



第 22 図　一般県道瀬野呉線道路改良事業計画地要試掘地点 No. 4 試掘坑土層堆積状況概念図

a　No. 2 地点南半近景　　（西から）

b　No. 2 地点北半近景　　（北から）

c　10T　　（北から）

d　11T　　（西から）

e　12T　　（西から）

f　13T　　（南から）

g　14T　　（西から）

h　No. 3 地点近景　　（西から）

a　8 T　（東から）

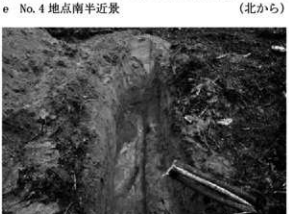
b　8 T 東端　（北から）

c　9 T　（東から）

d　No. 4 地点北半近景　（南から）

e　No. 4 地点南半近景　（北から）

f　1 T　（南東から）



g　2 T　（西から）

h　3 T　（北東から）

a　4 T　　（東から）

b　5 T　　（南から）

c　6 T　　（南西から）

d　7 T　　（北から）

e　15T　　（南から）

f　16T　　（南西から）

6　林道比和：新庄線（君田・布野区間）に係る試掘調査（要試掘地点 No. 1）

所　在　地：三次市君田町明谷

調 査 目 的：林道比和：新庄線（君田・布野区間）に係る埋蔵文化財の有無等確認

開発事業者：三次市産業部農政課

調 査 期 間：平成 26 年 6 月 16 日～平成 26 年 6 月 19 日

調査対象面積：600 ㎡

調 査 結 果：埋蔵文化財包蔵地「惣敷遺跡」（縄文・集落跡・440 ㎡）を確認した。

調 査 概 要：

現地踏査時に縄文土器を表面採集しており，集落跡等の遺跡の存在が予想されたため，埋蔵文化財の有無等を確認するための試掘調査を実施した。

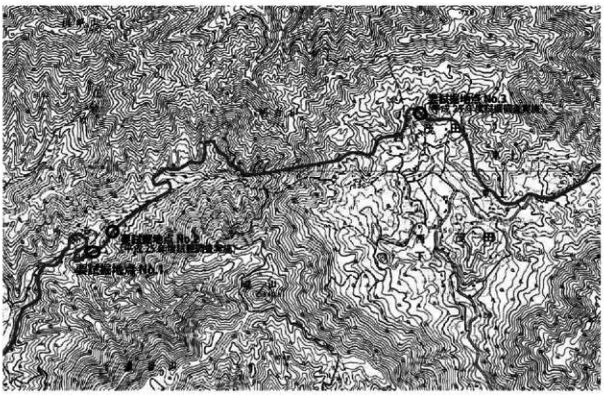
調査地点は，東西方向の痩せた丘陵尾根筋上（標高約 427～429m）に位置する。調査地点の現状は山林で，伐採後の檜の切り株が２～３mおきに残存する。試掘坑は，尾根筋上の平坦部に３か所（１Ｔ～３Ｔ）を設定した。

調査地点の基本層序は次のとおりである。

Ⅰ層　10YR4/3 にぶい黄褐色土（腐植土　現地表面から厚さ 0.2～0.3m）

Ⅱ層　10YR8/6 黄橙色土（基盤層の風化分解層　厚さ 0.2m 程度）

Ⅲ層　7.5YR8/6 浅黄橙色土（基盤層（花崗岩質風化岩盤））

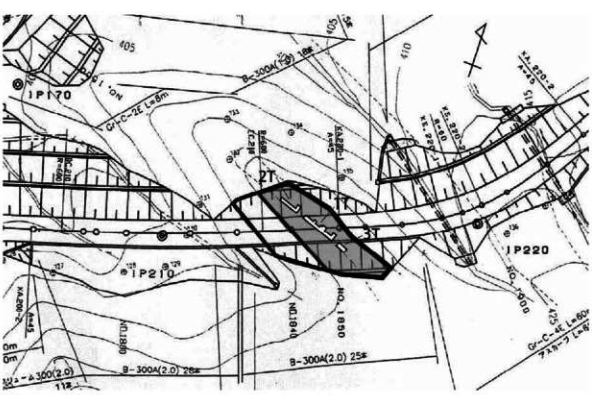


第 23 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画に係る試掘調査地点位置図（1:25,000）
（国土交通省国土地理院発行 1:25,000 地形図「櫃田」「上布野」を使用）

１Ｔは，痩せ尾根の中でも最も平場が広く平坦な尾根筋東寄りに，幅 1.2m長さ９ｍの規模で設定した。土層の堆積状況は，現地表面下 20～30 ㎝は腐植土（Ⅰ層）が堆積し，その下層は花崗岩質の粗い砂質土（Ⅱ層）である。地山（Ⅲ層）は概ね安定しているが筋状に岩脈が露呈する場所も存在する。試掘坑内の腐植土除去後，平面的な精査を行なった結果，１Ｔ東端から約３ｍ西側北壁付近に残存する木根の腐植土下層から縄文土器口縁部及び胴部の破片が出土した。出土地点の深度は地表下約 0.3m，花崗岩質基盤層にやや深く入り込んだ木根が土器片を抱えるような状態で出土している。

２Ｔは，西にやや下る尾根筋の緩斜面に，幅約１ｍ，長さ約５ｍの規模で設定した。土層の堆積状況は，１Ｔとほぼ同様であるが，腐植土（Ⅰ層）の堆積がやや薄く，地表面から 0.2ｍ程度，その下層は花崗岩質の粗い砂質土（Ⅱ層）である。地表面からの深さ 0.3m程度で，平面，断面の精査を行ったが，遺構・遺物等は確認できなかった。

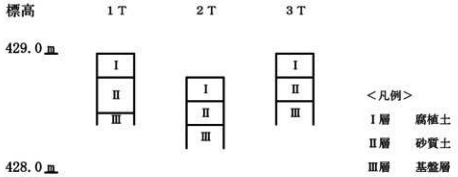
３Ｔは，尾根筋東端部付近の舌状にやや下る場所に，幅約１ｍ，長さ約２ｍの規模で設定した。土層の堆積状況は，現地表面下約 0.2mは腐植土（Ⅰ層）が堆積し，その下層は１Ｔと同様の黄橙色粗砂（Ⅱ層）である。念のため１ｍ四方の範囲をやや深く掘削したところ，その下層に硬い花崗岩風化土（Ⅲ層）が存在することを確認した。２Ｔ・３Ｔにおいて遺物は出土していないが，尾根筋平坦部という１Ｔと同様の地形であることから，埋蔵文化財包蔵地の範囲とした。なお，試掘対象範囲南西側については，尾根筋上の堆積土が崩落し，急傾斜地となっていることから，埋蔵文化財包蔵地の範囲外にあたると判断した。



第 24 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画地要試掘地点 No. 1 試掘坑位置図（1:800）

表 10　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画地要試掘地点 No. 1 試掘坑所見

トレンチ名	規模（長さ×幅×最大深度，m）	調　査　所　見
1 T	9.0×1.2×0.5	縄文土器片が出土
2 T	4.4×0.8×0.4	遺構・遺物は確認できなかった。
3 T	2.0×1.0×0.6	遺構・遺物は確認できなかった。



第 25 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画地要試掘地点 No. 1 土層堆積状況概念図

第 26 図は，1 T から出土した土器で，同一個体と推測される。波状口縁を有し，頸部がわずかにくびれる深鉢形で，器厚は口縁端部では 1 cm を超えるが，体部は 5 mm 程度にとどまる。胎土は緻密で，焼成も良好である。外面は縄文地に低い突帯を貼り付け，突帯上に爪形文と刺突文を施す。内面の口縁直下にも爪形文を巡らす。岡山県里木貝塚で間壁忠彦ら（註 1）により船元Ⅱ式と分類された一群に共通する特徴が認められる。

註

（1）間壁忠彦ほか「里木貝塚」『倉敷考古館研究集報』第 7 号　倉敷考古館　1971 年

第 26 図　1 T 出土遺物実測図（1: 3）

a　１Ｔ遺物出土地点　（南西から）

b　２Ｔ　（西から）

c　３Ｔ　（南から）

d　１Ｔ出土遺物（縄文土器）（１：３）

7　林道比和：新庄線（君田・布野区間）に係る現地踏査

所　在　地：三次市君田町茂田

調 査 目 的：林道比和：新庄線（君田・布野区間）に係る埋蔵文化財の有無等確認

開発事業者：三次市産業部農政課

調 査 期 間：平成 26 年 4 月 23 日

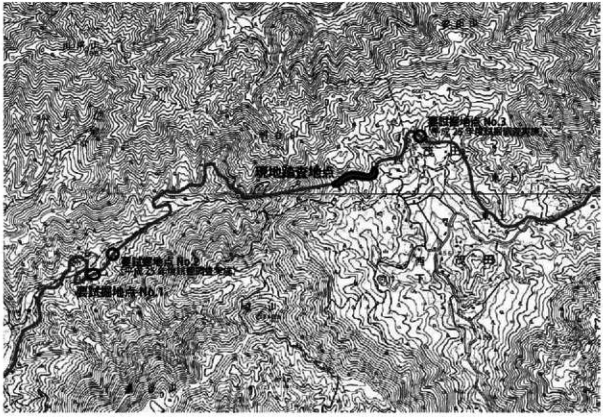
調査対象面積：約 8,000 ㎡

調 査 結 果：埋蔵文化財包蔵地「奥山製鉄遺跡」（近世・製鉄遺跡・6,570 ㎡）を確認した。

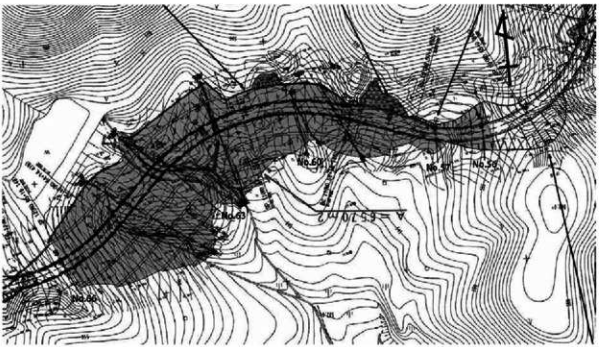
調 査 概 要：

計画区間のうち，現地踏査未了部分について踏査をおこなった。踏査地点は，明谷山（標高 721m）から西に派生した丘陵の山裾に近い傾斜地（標高約 550～560m）に位置する。調査地点の現状は山林で，南～南西方向に下る谷筋が踏査地点内に数か所存在する。

踏査範囲の工事杭番号は，No. 51（東端）～No. 66（西端）である。対象地の西側から踏査を行った結果，No. 56～No. 59 地点では人工的な窪地や溝状の谷筋を，No. 63～No. 66 地点では鉄穴流しの痕跡を確認した。また，No. 60～No. 63 地点においても，砂礫の選別時に掘りだされたと考えられる砂礫群や，作業場として利用されたと考えられる平坦部等を確認したことから，工事杭 No. 56～No. 66 地点を，製鉄に関連する埋蔵文化財包蔵地であると判断した。



第 27 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画に係る現地踏査地点位置図（1:25,000）
（国土交通省国土地理院発行 1:25,000 地形図「櫃田」「上布野」図幅を使用）



第 28 図　林道比和：新庄線（君田・布野区間）建設計画地現地踏査地内埋蔵文化財包蔵地範囲図（1:3,000）

図版 14

a　杭番号 No. 56 ～ No. 57 地点　馬の背状の小尾根から奥（東）側に溝状の谷地形や土砂掘削跡を確認

b　杭番号 No. 57 地点付近　鉄穴流し用砂礫の選別時に掘りだされたと考えられる礫群

c　杭番号 No. 63 地点付近　人工池から南東に下る谷筋

d　踏査地点に隣接した山裾部で確認した炉壁片等

報　告　書　抄　録

ふりがな	へいせいにじゅうろくねんどひろしまけんないせきはっくつちょうさ（しょうさいぶんぶちょうさ）ほうこくしょ
書　　名	平成 26 年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書
編著者名	河村靖宏，西村直城，沖　憲明，中村光則
編集機関	広島県教育委員会事務局管理部文化財課
所 在 地	〒730-8514　広島県広島市中区基町９番 42 号　TEL082-513-5023
発行年月日	西暦 2016 年３月 31 日

所収遺跡名	所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	発掘期間	遺跡面積（㎡）	発掘原因
亀居城関連遺跡	広島県大竹市小方一丁目	34211	16	34° 14′ 10″	132° 13′ 00″	20140729～20140806	780	試掘・確認調査
亀居城跡	広島県大竹市小方一丁目	34211	11	34° 14′ 25″	132° 13′ 10″	20141225～20141226	200	試掘・確認調査
奥山製鉄遺跡	広島県三次市君田町茂田	34209	34581-79	34° 55′ 16″	132° 48′ 15″			分布調査
惣敷遺跡	広島県三次市布野町上布野	34209	34582-70	34° 54′ 56″	132° 47′ 08″	20140616～20140619	440	試掘・確認調査

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
亀居城関連遺跡	その他の遺跡（都市遺跡）	近世	石列，土坑	陶磁器類	
亀居城跡	城跡	近世	郭		
奥山製鉄遺跡	製鉄遺跡	近世		鉄滓・炉壁	
惣敷遺跡	集落跡	縄文時代		縄文土器	

要　　約	大規模開発事業等に先立ち，平成 26 年度に実施した埋蔵文化財の分布調査及び試掘・確認調査の成果を収録した。 40 件の現地踏査等及び９事業 12 地点の試掘調査を実施した結果，４箇所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。

平成 26 年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書

編　集　広島県教育委員会事務局管理部文化財課
　　広島県広島市中区基町 9 番 42 号
　　TEL　082-513-5023
発　行　広島県教育委員会
発行日　平成 28 年 3 月 31 日
印　刷　株式会社　エル・コ